

西中だより

えいしきっそう

英姿颯爽 ～さらなる高みを～

神戸市立西落合中学校

<http://www2.kobe-c.ed.jp/noc-ms/>

Patience・ガマン・我慢・忍耐

西垣 傑

体育会も終わり、さわやかな秋風が吹く季節となりましたが、保護者のみなさまにおかれましてはご健勝のことと拝察申し上げます。先日の体育会では多くの方に来校していただき、ありがとうございました。今年の体育会は例年に比べて日程が早い上に、台風などの悪天候の影響で練習時間が大幅に少なかったにもかかわらず、全校生が協力して少しでも質の高さを求め、本番当日まで取り組むことができました。昨年度とは違う成長した姿が見られました。これから文化祭、中間テスト、部活動など、忙しい日々が続きますが、ひとつひとつに精一杯取り組んで欲しいと思います。

先日、テニスの大坂なおみ選手が全米オープンで優勝しました。大坂選手の快進撃は日本国民にとっても嬉しいニュースでした。試合中に対戦相手のセリーナウィリアムスが審判から警告を受けたことから波乱のグランドスラム決勝戦となりました。アメリカ人は愛国心という言葉が特に好きで、終始試合中、大坂選手に対して大ブーイングをしていました。そのシーンをテレビで見た人も多いのではないのでしょうか。グランドスラム決勝戦でここまで露骨にするとは本当に衝撃的でした。この試合にも劣らないくらい衝撃的だったのが、優勝後のセレモニーでした。優勝したにもかかわらず、大坂選手に対して容赦なく浴びせられるブーイング、いたたまれなくなり、サンバイザーを深くかぶり、涙しながらこの苦しい状況に耐える大坂選手の姿は、見ている方も本当につらいものがありました。優勝者に対してこんなことをするなんて、日本では考えられないことです。しかし、敗者のセリーナが『無礼なことを言うつもりはありません。なおみのプレーは素晴らしかった。彼女にとっての初のグランドスラム優勝、もうブーイングはやめましょう、おめでとう、なおみ(中略)』と言いました。大坂選手も『みんなが

セリーナを応援していたことは知っています。こんな終わり方をしてすみません。(セリーナに)一緒にプレーしてくれてありがとう

(中略:『注和訳に関しては色々な解釈の仕方があります。』と、言いました。いままでブーイングの嵐だった会場の空気は一変し、どよめきと拍手に包まれる、何とも目頭の熱くなる独特の雰囲気会場一杯に広がりました。優勝して謝る、対戦相手に感謝を述べる大坂選手はなんて、日本人らしいのだと思いますが、アメリカ人にも日本的な考え方がしっかりと受け入れられたようです。(ご覧になりたい方は『2018 US OPEN ceremony』で検索してください。英語も分かりやすく、心がジーンとします。)

今までの試合後の大坂選手のインタビューはいつも面白い上に、クリアな英語を話すので、聞いていてこちらも楽しい気分にさせてくれます。その中で彼女が良く口にする言葉があります。それは patience (ガマン・我慢・忍耐)です。彼女は今までのインタビューの中で何度もこの言葉を言っています。ガマンというのは中学生生活をする上でもとても大切なことだと思います。中学生生活をしていく中で厳しいことやつらいことにぶつかったとき、忍耐強く頑張り、乗り越えていかなければなりません。日々の授業や行事、そして部活動を通して中学生生活でしか経験できないガマンなどを学ばなければいけません。しかし最近では、子供の過保護化が進み、親がつらいことや大変なことからとにかく子供を守り、ガマンしなければいけない環境を排除することで、ガマンできない子供たちが増えているようです。今のうちから全ての困難から逃げ、ガマンしないしていると大人になってからガマンできず、ちょっとした困難にも耐えられず、すぐに仕事を辞めたり、少しのことで挫折したりしまいます。そうならないように、中学校のうちに忍耐強く頑張れば乗り越えられる目標を与え、スモールステップを踏んで困難を乗り越えていくガマン強さを学んでいかなければなりません。そういう環境を作ってあげることこそ、我々大人の役目ではないのでしょうか。

最近の教師の働き方改革や部活動において学校全体の大枠が変わり、水曜日の部活動、朝練習、1日練習などができなくなるなど、生徒たちにガマン強く頑張らせることの難しい環境になりつつあります。昨今急速な時代の変化に伴い、何でも『時代が違うから・・・』という言葉で流行だけを追い求めようとしている風潮があります。その中で今も昔も変わらない本当に大切なことは何か(不易)を見極め、子供たちの成長に少しでも協力できればと思います。今後ともよろしくお祈りします。



作文「体育会を終えて」より

3年1組 □□ □□

短い練習期間で私たちはしっかりやりきれたと思う。不安や焦りから練習中にイライラしたりピリピリした空気になることもあったが、みんなで支え合い成功させることができたのは本当によかった。

一番感動したのはやはり組・マスゲームだった。学級の団結、学年の団結はこれからたくさんあると思うけど、西中生全体での団結を保護者の方々に見せられるのはこれが最後になった。私たちの集大成『西中魂』が見せられたからこそあの大きな拍手だったのだと思う。きつい態勢を強いられ、声がかかるまで叫ばされ、何のためにやっているのか分からなかったが、演技が終わり見ている人もやっている人も感動に包まれたとき、この瞬間のためにやってきたのだと分かった。元気で一生懸命な一年生、一年生を引っ張り、私たち三年生を支えてくれた二年生、たくさん指導、準備をして下さった先生方、信頼できる仲間と最高の体育会にできて本当によかった。『感動の新記録』を出せたのか、一、二年生に背中で見せることは出来たのか、少し不安もある。でも私たちは本当に精一杯頑張ったし、その頑張りはたくさんの人に伝えられたと思う。体育会でできた団結力をしっかり発揮し、文化祭でも感動をたくさんの人に伝えられるように頑張りたい。



2年2組 □□ □□

ぼくは、体育会を終えて印象に残ったプログラムが2つあります。

1つ目は、組マスです。組マスでは、今年は去年よりもレベルアップしたいと思っていました。去年は初めてで戸惑うこともあったけど、自己評価では、目線を低く先生に向け、静と動の切り替えなどでも昨年よりレベルアップできました。

2つ目は、学年演技です。最初はクラスが団結できていなくて、衝突することもあり、順位もいつも2位か3位だったので、このままで大丈夫かなと思っていました。しかし、それからクラスで練習を積み重ねて、本番ではクラスで声もかけ合い、見事に1位になることができたのでうれしかったです。

今回の体育会で、組マスでは全校生徒で高め合い、学

年演技では、お互いを支え合い、認め合ったので、団結することができました。改めて知った高め合い、認め合い、支え合いの大切さを忘れず、次の音楽コンクールでもクラスで団結して、優勝目指して頑張りたいと思います。

1年1組 □□ □□

「ソイヤ！！」この一言がそろった時。体中で汗が流れている。入学して今まで団結して、たどり着いた晴れた景色。気持ちの良い締めくくりだった。

私たちは二週間もない練習時間に焦った。二、三年生の「ソーラン節」や「HAKA」には圧倒された。できるたびにやりがいを感じた。特に「ソーラン節」は感じることや思うことが多かった。一番心配したことは「すべて頭に入れられるだろうか。」ということだった。走ってこけるということよりも、三年生最後の大事な演技を失敗しないか、失敗して目立たないかと考えていた。

そして本番。最後のソーラン節がきた。できるだけ大声を出していつも以上にうまくできた。本当に最後の「ソイヤ！！」では何となく寂しくなった。あれだけ練習したのが最後だと思うと、色々あったなあと思った。その後泣いていた先輩を見てとても寂しくなった。三年生の先輩との体育会はまだ終わるんだなあと思ったからだ。すごく楽しい思い出に残る体育会だった。

第39回文化祭のお知らせ

10月20日(土)に、本校文化祭を開催いたします。今年度も、午前に音楽コンクール、午後に舞台の部を行います。また、展示については、北校舎3階を会場として実施いたします。

◇音楽コンクール(体育館) 9:30~11:15

◇舞台の部(体育館) 12:30~14:30

主な演目:各学年合唱、地域コーラス、
放送部 生徒会・3年有志劇
吹奏楽部演奏

◇展示発表(北校舎3階)

見学時間 10:45~11:45

14:00~15:00

展示内容:各学年展示、なかよし学級、
理科、美術科、技術・家庭科
美術部、生徒会



(※裏面もご覧ください。)

10月の行事予定

日	曜	予 定	給	部
1	月	全校朝集 フォローアップ週間	○	×
2	火	↓	○	×
3	水	↓	○	×
4	木	中間考査	×	×
5	金	中間考査	×	○
6	土			
7	日			
8	月	体育の日		
9	火		○	○
10	水	学級委員会 専門委員会 学年協議会	○	○
11	木	学年朝集 わくわくオーケストラ(1年)	○	○
12	金	全校協議会	○	○
13	土			
14	日			
15	月	全校朝集	○	○
16	火		○	○
17	水	文化祭舞台予行	×	×
18	木	学年朝集	○	○
19	金	文化祭(展示)	×	×
20	土	文化祭(展示・舞台)	×	×
21	日			
22	月	文化祭代休	×	○
23	火		○	○
24	水	歯科検診(AM)	○	○
25	木	学年朝集	○	○
26	金	スクールセーター販売	○	○
27	土			
28	日			
29	月			
30	火			
31	水			
31	火		○	○

11月の主な行事予定

6日(火) 3年生実力テスト
 5日(月)~9日(金) トライやる・ウィーク
 ?20日(火)~22日(木) 3年生個別保護者会
 28日(水)~11月30日(金) 期末考査



表彰の記録

男子ソフトテニス部

平成30年度 兵庫県中学生ソフトテニス団体研修大会
男子の部

優勝 □□ □□ ・ □□ □□
 □□ □□ ・ □□ □□
 □□ □□ ・ □□ □□
 □□ □□ ・ □□ □□

平成30年度 第67回神戸市総合体育大会須磨区予選会
中学校男子ソフトテニスの部

個人準優勝 □□ □□ ・ □□ □□
 第3位 □□ □□ ・ □□ □□
 第5位 □□ □□ ・ □□ □□
 □□ □□ ・ □□ □□
 □□ □□ ・ □□ □□

女子ソフトテニス部

平成30年度 第67回神戸市総合体育大会須磨区予選会
中学校女子ソフトテニスの部

個人優勝 □□ □□ ・ □□ □□
 準優勝 □□ □□ ・ □□ □□

拠点校部活動 卓球

平成30年度北区カデット卓球大会男子ダブルス
第3位 □□ □□

拠点校部活動 水泳

第54回兵庫県中学校学年別水泳競技大会
1年女子50m自由形 第5位 □□ □□

第68回神戸市中学学年別水泳競技大会
1年女子100m自由形 第3位 □□ □□

第67回神戸市総合体育大会水泳競技
中学女子400mメドレーリレー
第1位 □□ □□

全国学力・学習状況調査

神戸市学力・学習状況調査の結果について

4月17日に行われました全国学力・学習状況調査の結果をお知らせいたします。

全国学力・学習状況調査(3年)

《国語》

全体として概ね良好であるが、領域・評価の観点では「話す・聞く」能力において課題が見られた。とくに、話し合いの話題や方向を捉えたり、全体と部分との関連に注意して相手の反応を踏まえたりしながら話す問題について、課題が見られた。

《数学》

全体として概ね良好である。主として活用に関する調査において、領域別では数と式及び資料の活用で、また、観点別では、数学的な技能において課題がみられた。

《理科》

全体として概ね良好である。領域別に見ると、「地学分野」に課題が見られる。2年次の最後に学習した内容の定着がまだできていないようである。

《質問紙調査》

自分にはよいところがあると肯定的にとらえ、家の人と学校での出来事について話す傾向がある。一方、地域活動への参加等への意識は低いと思われる。

神戸市学力定着度調査

1年

《国語》

全体として概ね良好な状況であった。漢字を読む力、作文、資料を基に話し合う力は正答率が高かった。漢字を書く力、文法・語句に関する知識、内容を読み取る力に関しては、全国平均をкаろうじて上回ってはいるものの課題の項目であると考えられる。

《数学》

全体として良好な状況である。領域別に見てみると、図形にやや課題が見られた。グラフの読み取りにも課題が見られる。観点別では、関心・意欲・態度は高いが、知識理解にやや課題が見られた。

《理科》

全体として課題がある。水溶液の性質や月と太陽の正答率が特に低かった。基本的な知識の定着はもとより、事象についての原因や理由を考察することに課題がみられる。

《社会》

全体として、概ね良好である。領域別に見ると、「世界の中の日本」に大きく課題が見られる。観点別に見ると、「社会的事象への関心・意欲・態度」に課題が見られた。

《質問紙調査》

学校のきまりを守ったり、係や委員の仕事を進んだり、人が困っている時は、進んで助けたりという意欲が高い生徒が多い。特定の教科に対する苦手意識が若干見られる。

2年

《国語》

全体として概ね良好な状況であった。中でも、昨年に引き続き、漢字を読む問題の正答率が高かった。それに、文学作品の心情の変化を捉えたり、説明文の要旨や文章の展開を捉えたりする問題に対して特に良好であった。しかし、自分の考えを明確に書く、などの「書くこと」領域の問題に関しては課題が見られた。

《数学》

全体的に概ね良好である。領域別では関数、観点別では関心・意欲・態度でやや課題が見られた。基礎よりも活用にやや課題が見られた。

《理科》

全体として、概ね良好である。蒸留や植物の器官など、科学の基礎的なリテラシーを生活につなげて考えることに課題が見られる。

《社会》

歴史分野は概ね良好である。地理分野においても概ね良好であるが、領域別に見ると「世界各地の人々の生活と環境」にやや課題が見られる。特に気候や歴史的背景から農作物、宗教など生活に密接したものとの繋がりについての理解に課題がある。

《英語》

全般的に概ね良好ではあるが、英文の読み取り、英作文、場面作文、並びかえ、単語力に対してやや課題が見られる。領域別では聞くことに関して概ね良好であるが、書くことにおいて少し苦手意識があるようである。そのため活用の領域においてもやや課題がある。

《質問紙調査》

ほとんどの生徒が勉強は大切だと感じながらも、勉強が好きと感じている生徒は少ない。しかし、計画的に学習に取り組む生徒は過半数を超え、大半の生徒が調べ学習に興味を持っている。